

TCM

2019 年度 特別招聘演奏家シリーズ

声楽公開レッスン



マリア・バーヨ
Maria Bayo
soprano

バロック音楽、スペイン音楽、イタリア、フランス音楽の良き解釈者。輝かしく、クリアな声、たぐいまれな技巧、表現力、演技力などで20年以上に渡り世界最高のスペインのソプラノとして君臨している。ザルツブルク音楽祭においてモーツァルトのダ・ポンテ三部作に4年にわたり出演した唯一のスペイン人である。スペイン音楽も熱心に歌ってきており、多数のサルスエラの録音を残しているほか、忘れられた作品の発掘も熱心に行ってきた。オペラや室内楽の分野でも著名で尊敬を受ける指揮者や演出家たちと共演してきている。役の真髓を掘り起こし、その声を用いてさまざまな切り口で歌ってみせるその解釈は世界中で非常に高く評価されている。

シノーポリ、シャイー、パッパーノ、ゼッダ、アリツィ、コリン・デイヴィス、マゼール、ヤーコプス、ルセ、ホグウッド、ボルトン、ヘレヴェッヘなどの指揮でミラノ・スカラ座、ベルリン国立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ミュンヘン、ビルバオ、ドレスデン、ブリュッセル、マドリードのテアトロ・レアルおよびテアトロ・デ・ラ・サルスエラ、ウィーン国立歌劇場、パリのバスチーユオペラ、パレ・ガルニエおよびシャトレ座、ローマ、フィレンツェなど世界最高の歌劇場で歌ってきた。

6月13日(木) 17:45 会場: TCM ホール

通訳: 服部洋一先生

受講者

院1 村崎葵(むらさきあおい)

W. A. モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」より “恋は小さな泥棒”

院1 笠 恵里花(りゅうえりか)

J. S. バッハ「ヨハネ受難曲」より “融けて流れよ、わが心よ”

院1 鄭 美来(ちよん みれ)

W. A. モーツァルト「イドメネオ」より “たとえ父を失っても ”

院2 中野礼美(なかのれみ)

G. プッチーニ「蝶々夫人」より “ある晴れた日に ”

院2 栗田幸早(くりたつかさ)

F. P. トスティ “虚しい祈り”

(演奏順不同)

問い合わせ先: 国際交流センター intern.koryu@tokyo-ondai.ac.jp